

なかしべつ 議会だより

No.137

令和5年4月



計根別学園 6年生の14名が傍聴に来てくれました（3月7日：定例会2日目）

**主な内容 令和5年度各会計総額予算
298億8388万2千円を議決しました** (P3～5)

「一般質問」 6名 (P6～9)

議会モニター募集 (P9)

議会改革特別委員会 (P11)

議会ホームページ



3月定例会 全議案可決

条例改正案など

令和5年3月定例会を3月6日から16日まで開催。補正予算及び条例、令和5年度各会計予算などの議案について審議し、議決しました。

■令和4年度中標津町各会計補正予算

◇一般会計

6億3612万2千円を追加し、総額165億2971万9千円となりました。

(単位：千円)

	総務費	民生費	衛生費	農林業費	商工費	土木費	教育費	計
補正額	21,565	△ 43,217	△ 2,843	741,608	△ 48,341	1,033	△ 33,683	636,122

補正内容

《保育対策総合支援事業》

【総事業費：210万円】

「こどもの安心・安全対策支援」として出退園管理システム導入や空気清浄機などの衛生用品に補助が行われます。

《一般廃棄物最終処分場設備改修事業》

【事業費：1637万6千円】

最終処分場維持運営のため、ごみ埋立地にある遮水シートからの漏水を検知するシステム内の測定器を一括改修します。

《畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター関連事業）》

【総事業費：10億7852万4千円】

地域全体の収益力を向上させるクラスター計画達成のための取組への補助であり、バンカーサイロや飼料調整庫等の整備により飼料の安定供給や品質向上が見込まれます。

他 公社宮草地畜産基盤整備事業負担金に3億1925万5千円追加

◇介護保険事業特別会計・下水道事業特別会計・簡易水道事業特別会計・水道事業会計
事業費確定による減額補正となりました。

◇町立中標津病院事業会計

前回の補正から病院事業収益3億1001万4千円の増額補正となるも、物価高騰により薬品・診療材料費が大幅に上昇したため、病院事業費用においても2952万8千円の増額補正となりました。

■条例制定

- ◇個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定
- ◇地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定
- ◇中標津町個人情報の保護に関する法律施行条例制定
- ◇中標津町情報公開・個人情報保護審査会条例制定
- ◇中標津町開業医誘致条例制定

■条例の一部改正

- ◇中標津町議会議員及び中標津町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇中標津町水道事業布設工事監督者を配置する工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例制定



定例会最終日、起立採決の様子

予算審査特別委員会

前年度比8.3%増

各会計総額予算 298億8388万2千円

一般会計 161億4100万円
特別会計 47億8607万1千円
公営企業会計 89億5681万1千円

過去最高額

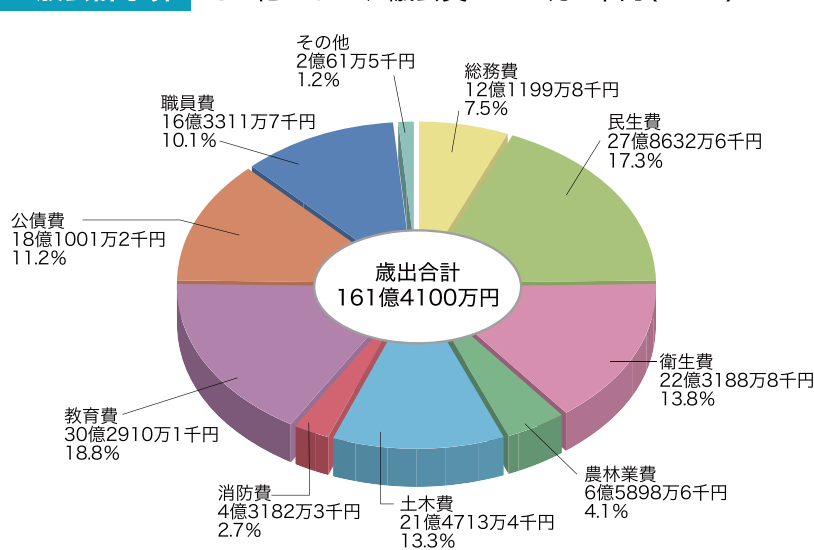
(特別会計より公営企業会計へ移行：簡易水道事業会計・下水道事業会計)

令和5年度一般会計予算、各特別会計予算、企業会計予算ならびに関連する条例制定等については、予算審査特別委員会（宗形一輝委員長）に付託されました。

委員会は3月7日・8日・13日の3日間にわたり開催され、慎重かつ熱心に審議が行われました。

3月16日定例会最終日に、結果報告、質疑、討論となり、阿部隆弘議員、松野美哉子議員が賛成討論を行い、採決の結果、全会一致により、原案どおり可決されました。

一般会計予算 その他、議会費 9349万8千円(0.6%)



主な事業

- 人口減少対策調査研究事業（アンケート調査実施 他） 356万円
- ふるさと応援制度推進事業（推進体制強化（協力隊員1名）、返礼品事業者との連携強化 他） 2億1425万1千円
- 多文化共生推進事業（外国人地域おこし協力隊、留学生支援 他） 5008万7千円
- 外国人財誘致推進事業（海外プロモーション・招致活動（2ヶ国）） 2994万円
- 地域防災計画等改訂事業（地域防災計画改訂、避難所運営マニュアル改訂 他） 719万4千円
- 伴走型相談支援・出産子育て応援給付金事業（出産・子育て応援給付金の給付 他） 1131万4千円
- 合葬墓整備事業（中標津墓地にある無縁仏の北側に整備） 1372万8千円
- 新商品開発等チャレンジ支援事業（新商品開発や販路開拓等への支援） 600万円
- 観光施設整備改修事業（開陽台の活用促進に向けた検討調査、開陽台駐車場トイレ改修設計） 503万4千円
- 緑ヶ丘森林公園キャンプ場利用促進事業（基本設計および実施設計委託、測量調査委託業務 他） 3932万8千円

関連する条例の一部改正

- 中標津町手数料条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町保育所設置条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定

令和5年

予算審査特別委員会 一問一答



(二酸化炭素) 排出量を吸収量と相殺し、実質ゼロにすることを表明した自治体のことです。

総務部所管

◆ふるさと応援制度推進事業

【質問】

ECサイト（ネットショップ等）に不慣れな事業者への発送や広告等のサポート体制、返礼品の発送業務が倍増したときの増産体制や発送等、事務作業の補助体制は考えていますか。

【答弁】

今年度よりふるさと応援係を創設し、事業者への訪問も能動的に活動しています。

事業者との連携は大変重要で、地域おこし協力隊採用により事業者との密接な関係を構築し問題に取り組みます。



【質問】

リピーター獲得のためのさらなる計画は考えていますか。

【答弁】

リピーターは大きく2つに分かれ、町の特産品に興味がある方にはレビュー対応や返礼品の説明文書の充実、新たな返礼品の開発で事業を進めま

す。本町が好きという方には、メールマガジン及びSNSの情報発信の強化を地域おこし協力隊や事業者と連携しながら取り組みます。

◆防災減災対策強化事業



【質問】

メールやSNS、電話は災害のときに電波の繋

ることが話題になってい

ますが、繋がり易さをさらに求めることは考えていますか。

【答弁】

FM放送の緊急割り込みでの周知をメインに行っています。ドローンの関係は現状では情報収集・研究の段階となっています。

◆地域防災計画等改訂事業



【質問】

大規模災害が発生した際、速やかに避難所を開設しなければなりません。開設初期時に必要な物品やマニュアル等を、移動可能なコンテナに収容した物の備えは考えていますか。

【答弁】

避難所開設キット、スターターキットなどは現在整備がありません。

誰が避難所に最初に来ても開設できるような避難所開設キットをはじめ、マニュアルを見直していきます。

町民生活部所管

◆施政方針



【質問】

ゼロカーボンシティ宣言はいつしますか。

【答弁】

関連予算も含めて当定例会に提案をしているので、可決いただければ速やかに宣言します。

※ゼロカーボンシティとは、2050年までにCO2

◆高齢者支援事業

【質問】

災害時要援護者台帳整備について、さまざまな問題を抱えている中で行政が地域支援員に対し支援すべきではないですか。

【答弁】

基本的に災害が起こった際は、一義的に自分たちの身は自分で守り、弱者の存在を行政側からの資料としてお知らせします。

◆町立保育園運営管理経費



【質問】

0歳から2歳児の保育料無償化について検討しましたか。

【答弁】

子ども・子育て支援事業計画の策定に係る実態

調査を行い、その結果を受けて保育料が高額で入園できない人数や保育料の設定金額の二ツズを把握した上で検討していきます。

◆合葬墓整備事業

【質問】

合葬墓を待ち望む方にとって、自分の最後の行き場を決めておきたい思いもあります。

生前受付を考えると、はできませんか。

【答弁】 今後検討を進めていきます。

経済部所管

◆外国人財誘致推進事業

【質問】

日本語学校開校、専門学校開校のタイミングで海外プロモーションを積極的に行い外国人材の誘致活動を推進することですが、日本語学校や専門学校の卒業生を町内の労働力として確保するための事業ですか。

【答弁】

専門学校卒業生を高度人材として地元で雇用

し、定着することが理想の形ですが、岩谷学園の卒業生を町内に就労させることを直接的に目的としているものではありません。

【質問】

専門学校でＩＴ分野を学習した学生たちが、町内に行けるだけにとまってもうための企業誘致も必要と考えますが、連携についてはどのように考えていますか。

【答弁】

岩谷学園と様々な協議を進め、農業酪農ＩＴコースは、地域のニーズに応えるＩＴと農業をつなぐ人材の育成について、メーカーから要望も寄せられていますので、そこを就職先にするためのカリキュラムを編成しています。

また、商工業観光ＩＴコースでは、経理や商業簿記関係の授業を地元で受けられる場を提供し、地元への就職につなげていきたいと考えています。こうした人材がどんどん地元に着着すること、ＩＴ系の企業に就職できるような形で企業誘致と擦り合わせ、人材が多くとまる業種の集積を検討します。

【質問】

外国人を中標津町に誘致するために、海外プロモーションを行う予算ですが、人口２万人の中標津町が３０００万円の予算で、世界を相手にＰＲできるのか心配です。

【答弁】

これからの人材不足をどう補っていくかが非常に大きな分野と考えています。

それに対してアジア圏の２か国で人材確保に向けて努力します。

◆酪農学園大学連携
協定推進事業



【質問】

農業高校との連携で昨年より開発中の商品数、内容を説明願います。

【答弁】

３商品あり、研修センターで生ハムとサラミ、農業高校で惣菜パンを開発しています。

全商品の令和５年度中完成を目指しています。

【質問】

惣菜パンは地元のパン屋などで販売し、また、生ハムなどは、ふるさと納税返礼品まで高めていく方向は考えていますか。

【答弁】

肉製品は、現在商品化及びふるさと納税返礼品にしたいと動いています。惣菜パンは、外部に委託する予定で、農高独自の製造販売とはなりません。

農高生が惣菜パンを製造販売すること考えています。

◆バイオガス導入推進事業（家畜ふん尿臭気対策事業）



【質問】

中標津町バイオマス産業都市構想には、近隣市町村との連携が重要、空港周辺の悪臭対策などが随所に記載されています。

ＪＡ中標津区域の基礎調査も重要で、ゼロカーボンシティ宣言は全町で

取り組むべき課題で、どのように計根別から発展していきますか。

【答弁】

また、ＪＡ中標津へ働きかけますか。

基礎調査に計根別農協の別海地域が入ること、より効果的な計画になる場合は、個別プロジェクトにより別海町との連携を含めて検討していきます。

ＪＡ中標津との連携は、計根別地域から基礎調査が始まり、その結果がＪＡ中標津に波及していくことを期待しています。

◆スポーツ活動健康
増進推進事業

教育委員会所管



【質問】

開陽台マラソンの記述がない理由を教えてください。

【答弁】

開陽台マラソンは、令和２年より３年連続中止となり、町と教育委員会、財団の３者で検討した結果、開催要望はありましたが、運営スタッフおよび経費確保の困難により、２月中旬の実行委員会で大会の終了を決定しました。

後継事業は持続可能な内容で検討中です。

【質問】

地域振興・交流人口増大のため、事務局機能強化により、継続を希望します。

【答弁】

スタッフの安全性、走る方の安全確保も重要で、人口減少の中で交流人口をどう増やすか、マラソンにこだわらず取り組んでいきます。

【質問】

開陽台という町の代名詞を冠とするイベントであり、後継のイベントに関して研究していただきたいと思いますが、今後どのようなスケジュールで考えていますか。

【答弁】

後継事業については計画中で、開催日時等も含め協議中です。

大規模な運営は非常に困難で、身の丈に合った開催方法を模索し、人員をかせずに安全安心に開催できることを目指しています。

◆病院事業会計
町立病院所管



【質問】

病院経営改善事業は、経営再建に係るコンサルティングが令和４年度で終了すると説明を受けていましたが、方針の変更があったのですか。

【答弁】

昨年からは医師を中心に１１０床プロジェクトを実施していますが、脆弱な財政基盤と言わざるを得ません。

職員の意識改革は始まったばかりであり、病院経営改善事業を継続して進めていきます。

3月定例会で以下の項目について町長及び教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 学校法人岩谷学園について

教育行政報告

1. 文部科学大臣優秀教職員表彰について
2. 各種大会等の出場結果について

詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>



一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 町職員の人員不足解消に向けた取り組みについて

答弁 選ばれる職場づくりに向けて努めてまいります

阿部 隆弘 議員

質問



2022年度採用も採用予定者13人に対し採用者8名にとどまり、内定辞退や、採用後も数年で退職する事例も多く、職員の定着化も進んでいない状況とされます。その原因について町長はどのようにお考えでしょうか。採用試験への応募者数の底上げ、職場でのサポート体制の強化による働きやすい職場・魅力的な職場づくりに向け改善を図る必要があると思います。職員の人員不足は行政サービスの低下に直結し、町民の生活に直接影響を及ぼします。充実した行政サービスの提供を進めるうえでも人員の確保が重要です。

町長答弁

他の自治体との差別化を図り、町職員の人員不足解消に向けた取組が必要と考えますが町長の考えをお聞かせください。

受験者数の減少、さらに内定後の辞退、採用後も、若年層職員の退職が増加傾向にあり、欠員は兼務発令や会計年度任用職員の補充により対応しています。今年度は大学・専門学校など15校を訪問し、学生の受験につながったところで

近隣自治体の状況を踏まえた検討、デジタル技術の活用による職員の業務負担を軽減するための研究を進めてまいります。

再質問

昇給年数の短縮は、根室管内町村会等で西村町長から取り組む姿勢を示していただけますか。

町長答弁

近隣自治体の調査・研究を行い、中標準が選ばれるように努めてまいります。

質問 オール電化公住の暖房費について

答弁 入居者が生活にお困りの場合は相談も受けています

松村 康弘 議員



質問

オール電化住宅の暖房費が高騰して生活を圧迫している状況を耳にします。

旭第二団地のオール電化公住に住まわれる方から切実な声が聞こえます。

泊原子力発電所がフル稼働している時代、議会としても高齢者に安全で安価な電気暖房を提供しようと考えた時代、まさか原発が停止し火力発電所がそれに代わらざるを得ない状況は、全く予測できないことでした。

結果として、特に年金生活の高齢者にとっては食品などの高騰の中、急増する暖房費の負担は、ほかに代替えの選択肢がない状況です。設置者の行政として、同

型の公住である旭ふれあい団地のFFストーブとの比較や、住民の意向調査を開始して、更なる高騰に対し研究をすべきではないでしょうか。

町長答弁

今後継続して電気料金が値上げされるのか、石油が高騰するのが見極めが困難な状況です。

もし76戸全ての暖房装置を更新してもエネルギー情勢の変化によつては無駄になる可能性もあり、この団地だけの調査研究をすることはできませんが、入居者が生活にお困りの場合は相談も受けています。

暖房費を含め電気代の高騰は全ての町民の皆様の生活に関わることから、国の動向を注視してまいります。

他の一般質問

● 山田洋次監督の記念館開設に向けて

● 開陽台育成牧場会計年度任用職員の通年雇用について

質問 民生委員児童委員への活動支援について

答弁 関係機関と連携を密に支援してまいります

高橋 善貞 議員



質問

昨年12月から新体制で民生委員児童委員（以下、民生委員）56人の活動が始まりました。

北海道全体では定員の8,454人に対し、委託人数7,874人で充足率は93.1%580人の欠員を生じています。

中標津町の民生委員56人の平均年齢は、昨年12月の改選後で64.2歳であり、任期が終わる3年後の新任委員への一部交代に向けて新たな人材を育成していかねばなりません。

各民生委員に割り当てられた地域では、一人暮らしの高齢者や子育て家庭の孤立、生活困窮者など様々な

課題を抱えています。さらにコロナ禍の影響から近隣住民との交流が希薄化し、町内会活動も加入会員が40%を切るなど、地域活動が停滞している状況下で、民生委員の活動はこれまで以上に多忙になる傾向にあります。

新年度から、新たに「こども家庭庁」が発足し、民生委員の業務も複雑化することが予想され、最近社会問題にもなっている「ヤングケアラー」「ネグレクト」など、新たに組み込まなければならぬ課題も山積しています。

この社会の変化に対応した活動が望まれている民生委員に対して、町長はどのような支援・協力が必要と考えますか。

町長答弁

これまで以上に民生委員が活動しやすい環境づくりに努め、防災対策を入り口に、情報交換を積極的に取り組み支援してまいります。

質問 動物愛護の取り組みについて

答弁 住民への普及啓発と愛護団体の状況把握に努めます

江口 智子 議員



質問

町内における犬猫保護の実態と、飼育マナーの啓発は適宜行われているかお尋ねします。

町長答弁

令和2年から4年までで、犬は24件、猫は31件です。飼育マナーの啓発は、ホームページ上及び3月広報にも掲載をしたところです。

再質問

外をうろつく猫にエサを与えるなら、繁殖防止の手術をすべきという地域猫の考え方、高齢者とペットの向き合い方、災害時の同行避難のための心がけなど、様々なケースの広報が必要ではないでしょうか。

町長答弁

環境省や北海道の啓発物等を活用し、効果的に普及啓発活動を行います。

再質問

町としての動物愛護管理センターへの考え方と、動物行政の位置づけについて伺います。

町長答弁

中標津町環境基本計画にペットの適正管理をつたっており、北海道に対し拡充の働きかけを行います。

再質問

動物愛護管理法にのっとり、私財で保護動物に去勢や避妊手術を行う愛護団体に、手術代の助成など支援を行う必要があるのではないのでしょうか。

町長答弁

飼い主のいない犬猫は、ボランティアに依存せざるを得ない状況ですので、北海道の施策と連携し、ボランティアの状況把握と、住民への理解促進の支援から始めます。

質問 認知症用のヘルプマーク製作について

答弁 ヘルプカードの利用普及促進に努めてまいります

佐野 弥奈美 議員



質問

全国共通のヘルプマークは、認知症の方も利用できるものですが、自分が病气や障がい者ではないと思っている方には、敬遠されます。

そのため、中標津町独自の認知症用のヘルプマークを作ってはいかがでしょうか。

帰宅できなくなることもありですが、マークをつけることで、周りの方が気付いて声をかけてあげることでもできると思います。

町長の考えを教えてください。

町長答弁

厚生労働省において、認知症の人の希望を叶えるヘルプカードの在り方について

て調査研究が実施され、ひな形が作成されているところです。

このカードは、必要な内容を書ける余白があり、必要な支援ができるよう配慮されています。

今後、多様な関係者の意見を伺いながら本町にあったヘルプカードの作成、利用促進、普及策の検討を進めます。

再質問

カードでは財布などに入れたまま忘れてしまいますが、ヘルプマークだとカバンなどに付けることが可能で外からでも見やすくなります。

また、カードに認知症ですと書かれたものは持ち歩きたくないと思いますし、一目で助けが必要と分かる工夫が必要です。

町長答弁

周囲の温かい理解も必要になると思いますので、身に着けるようなタイプのものをしっかりと考え、普及推進に努力したいと思っています。

質問 女性の総合窓口設置について

答弁 保健センターを女性の相談窓口とします

平山 光生 議員



質問

令和4年6月定例会一般質問で、町長は本年度中に女性の意識や意向を把握し、今後の施策に繋げていくための調査を行うこと、女性の総合窓口の設置に向け、積極的に検討しますと答弁していました。

既に令和4年度が終わろうとしています。現在の調査の進捗状況、女性の総合窓口設置について、今後どのように進んでいくのか見解をお聞かせください。

町長答弁

本年度は20代の男女へのアンケートを実施し、仕事内容、労働環境の満足度などについて調査を行っています。

再質問

女性の悩みは複雑化・多様化し、ワンストップ型の総合窓口の設置には、様々な問題に対応できる専門知識の必要性や女性職員の育成など、クリアしていくべき課題があります。

まずは、プライバシーの保護に十分配慮した面談スペースが確保できる保健センターを、各専門組織および関係部署へスムーズに繋がられる「女性の相談窓口」として周知対応を進めるとともに、安心して相談ができる環境や方法について、引き続き検討してまいります。

設置課題となっている専門知識の研修や女性職員の育成について、早急な対応が必要と考えますが、課題の対策についてはどのようにお考えでしょうか。

町長答弁

PRしながら相談体制の強化を進め、更に展開を図れるように努力したいと思います。

人事案件

根室町村等公平委員会委員の選任について同意しました

任期 令和5年4月1日から
令和9年3月31日



大形 幸男 氏

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました

任期 令和5年3月23日から
令和8年3月22日



佐々木 富昭 氏

議会モニターを募集

令和5年5月10日(水)まで

中標津町議会では、議会の運営等に皆さんの要望や提言を反映させるため、議会モニターを募集しています。任期は令和5年6月から2年間です。

人数は10人程度で選挙権のある町民を対象にしていますが、応募人数が超過した場合は選考させていただきます。

職務内容は、本会議、委員会等の運営に関する意見や議会だより、ホームページ、議会報告会に関する意見を文書で提出すること。また、議会議員と年1回以上の意見交換を行います。

本会議、委員会等の傍聴等では報酬はありませんが、意見交換の際は日当、交通費を支給します。

興味のある方は、中標津町議会事務局（TEL73-3111）へお問い合わせください。

意見書

みんなの声を国政に



詳しい内容はホームページに掲載しています。

<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

食料安全保障を担う持続可能な北海道酪農畜産の支援に関する意見書

提出者 山口 雄彦 議員

本道の酪農は、大規模で専門的な経営体为主体となつて、全国の生乳の約6割を生産し、我が国の食料安全保障に寄与することにも、地域の基幹産業として雇用や経済を支える重要な役割を果たしている。

しかしながら、現在、酪農を取り巻く状況は、ウクライナ情勢や円安の影響などにより飼料価格が高騰し、生産コストが増大する中、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により緩和した生乳需給の改善が見通せないことに加え、乳用牛の子牛取引価格が大きく下落するなど、過去に例を見ないほど極めて深刻な事態となっている。

このような中、道内の生産者団体では、需給ギャップの解消や生産コストを価格転嫁できる環境を整備するため、やむを得ず、生乳生産の目標数量を引き下げ、生産の抑制を決定したところであるが、こうした自主的な対策のみでこの難局を乗り切ることは非常に困難である。

よって、国においては、今後とも「畜産経営の安定に関

する法律」の機能強化の下、酪農経営の持続的な維持・発展を支援するため、次の事項について十分配慮するよう、強く要望する。

1 配合飼料など生産資材価格が高騰する中、価格や経営動向等も見据えながら生産者負担が増加しないよう、十分な支援を講ずること。

2 生乳の需給調整機能が適切に発揮されるよう、全国の生産者と乳業等が一体となった需給調整を行う仕組みを構築すること。

3 生産コストの増加分を適切に価格転嫁できる環境を整備すること。

4 食料安全保障の観点からも、将来にわたり担い手が希望を持つて取り組めるよう、各種施策の一層の充実を図ること。



発議による条例制定・一部改正

中標津町議会の個人情報保護に関する条例制定

提出者 高橋 善貞 議員

中標津町議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めることにも、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護することを目的としています。

（令和5年4月1日施行）



中標津町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例

提出者 松村 康弘 議員

町発注工事等の請負契約が300万円まで可能になりました。

（公布の日から施行）



中標津町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例制定

提出者 江口 智子 議員

※詳細は次のページに掲載します。



3月定例会で 議員定数削減・常任委員会数減 関係条例の一部改正が可決!!

進んでいます!! 議会改革

昨年12月定例会において、議員定数と常任委員会数について最終報告を行い、関連する条例の速やかな一部改正を求めました。その後、議会運営委員会において改正に向け協議し、3月定例会で発議による条例の一部改正を上程、全会一致で可決しました。

その内容について、以下のとおりお知らせします。

1 中標津町議会の議員の定数を定める条例

【条文】 地方自治法第91条第1項の規定に基づき、中標津町議会議員の定数は15人とする。

【解説】 議員定数はこれまでの18人から15人に改正され、次回の町議会議員選挙が行われるときから施行されます。

2 中標津町議会委員会条例

【条文】 常任委員会の名称、委員の定数及び所管は、次のとおりとする。

(1) 総務経済常任委員会 7人

- ア 総務部の所管に属する事項
- イ 出納室の所管に属する事項
- ウ 監査委員事務局、選挙管理委員会および固定資産評価審査委員会の所管に属する事項
- エ 経済部の所管に属する事項
- オ 農業委員会の所管に属する事項
- カ 建設水道部の所管に属する事項
- キ 他の常任委員会に属しない事項

(2) 文教厚生常任委員会 7人

- ア 町民生活部の所管に属する事項
- イ 町立病院の所管に属する事項
- ウ 教育委員会の所管に属する事項

【条文】 議会運営委員会の委員の定数は5人とする。

【解説】 常任委員会数はこれまでの3から2に、委員定数は6人から7人になり、議会運営委員会の委員定数は6人から5人となります。

総務経済常任委員会は地域振興に関して、文教厚生常任委員会は町民の暮らしに関して所管する部局で大まかに分けて、町民の皆さまに対して分かりやすい情報発信に努めることとしています。

議会改革特別委員会委員長 江 口 智 子

第1回臨時会

2月15日に開催された臨時会において、補正予算等について審議し議決しました。

■専決処分の承認を求めることについて

◇一般会計補正予算（第7号）

5000万円を追加し、総額158億5666万2千円となりました。（除雪委託料）

■令和4年度中標津町各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第8号）

3693万5千円を追加し、総額158億9359万7千円となりました。

伴走型相談支援・出産子育て応援給付金事業

■その他

◇工事請負変更契約の締結について（中標津下水終末処理場反応タンク機械設備更新工事）

◇工事請負変更契約の締結について（中標津下水終末処理場反応タンク電気設備更新工事）

◇中標津農業高等学校損害賠償請求事件に関する和解について

広域連合・一部事務組合の議会報告

3月3日開催

根室北部廃棄物処理広域連合

（構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町）

○令和4年度一般会計補正予算

240万円を追加し、予算総額8億7360万円

○令和5年度一般会計予算総額9億300万円

○根室町村等公平委員会委員の選任について （大形幸男氏）

根室北部消防事務組合

（構成町：中標津町、別海町、標津町、羅臼町）

○令和4年度一般会計補正予算

690万9千円を減額し、予算総額16億8460万7千円

○令和5年度一般会計予算総額17億6141万6千円

○根室北部消防事務組合非常勤消防団員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について

○根室町村等公平委員会委員の選任について （大形幸男氏）

根室北部衛生組合

（構成町：中標津町、標津町、羅臼町）

○令和4年度一般会計補正予算

969万9千円を減額し、予算総額24億8830万9千円

○令和5年度一般会計予算総額

3億7893万4千円

○根室町村等公平委員会委員の選任について （大形幸男氏）

○根室北部衛生組合個人情報保護法施行条例制定について

中標津町外2町葬斎組合

（構成町：中標津町、別海町、標津町）

○令和5年度一般会計予算総額8976万7千円

○根室町村等公平委員会委員の選任について （大形幸男氏）

総務文教常任委員会

活動レポート



総務部

●町税について

委員 令和4年度の町税決算見込み額35億1274万9千円に対し、コロナ禍や物価高騰、酪農家の生乳生産抑制などにより、令和5年度の町税額をどのように見込んでいますか。

担当 個人町民税と固定資産税において増加が見込まれます。

法人町民税は、原材料や燃料高騰の長期化で減少が見込まれます。

●人口減対策について

本年度から手掛けた婚活イベントについて報告を受けました。

委員 対面やオンライン以外にマッチングアプリでの企画は検討していますか。

担当 マッチングアプリは有効な対策のひとつですが、慎重に見極めて考えたいと思います。

実施内容をもっと参加しや

すく継続できるよう研究していきます。

委員 交流イベントは1日ではなく、2日間かけた内容を考えてはどうですか。

担当 今後取り組んでいきたいと考えています。

●北方領土対策について

2月4日なかしべつ冬まつりに合わせて、文化会館町民ホールで署名活動を行いました。

「北方領土の日」根室管内住民大会は、2月7日式典のみ有観客で実施され、4名が参加しました。



北方領土返還要求署名活動

●防災について

役場地下保管庫と役場駐車場防災用コンテナ6棟に保管されている防災備蓄品・防災資機材を視察しました。

防災について切れ目のない調査を実施するため、厚生常任委員会と合同で開催しました。



視察：防災備蓄品保管状況

稼働できる見通しとの報告を受けました。

●中標津町育英資金について

令和4年度から人口減対策として、要件を満たせば返済不要となる「定住促進貸付金」と既存の「修学資金」「入学一時金」の運用状況について説明を受けました。

委員 選考基準に達していない、貸付できなかったことはありますか。

担当 過去6年間で貸付できなかったことはありません。

委員 町外在住者で卒業後、中標津で生活したいという方は申請できますか。

担当 支援の対象にはなりません。

委員 高校3年間貸付を受けて、大学等進学のため継続して貸付を受けられますか。

担当 継続して貸付可能です。

委員会開催 1月16日

2月10日

(佐久間 ふみ子 議員)

教育委員会

●給食センターについて

1月の委員会報告以降、新たに調理員2名の申し込みがあり、4月からは定員12名で

厚生常任委員会

活動レポート



町民生活部

●地域公共交通に係る各協議会の進捗状況について

法律の改正から、今後も国の補助を継続活用するため、「中標津町地域公共交通計画」策定に向け中標津町地域公共交通活性化協議会を設置し、開催状況や今後のスケジュール、バスの利用環境・乗降調査について確認しました。

標津線代替輸送連絡調整協議会が開催され、路線の再編方針が示されました。

・標津～西春別間を令和5年10月からダイヤのスケールダウン、西春別～標茶間を令和7年3月に廃止

・中標津～別海間を令和5年10月から中標津空港線と重複しない運行に再編、別海～厚床間を令和5年9月に廃止

委員 農高通学生のため、計根別への追加運行の検討は。

担当 朝の登校便は2便体制で、生徒数に充分対応できる席数となっています。

乗れないのではなく、乗らない要因があると思われます。

下校便は、行事等で一斉下校になると1便となり対応できないため、臨時運行の依頼を含めて検討していきます。

〈団体との懇談会〉

●全町内会連合会

連合会の概要説明や町内会加入率向上の取組「町内会員割引制度」について、説明を受けました。



全町内会連合会

回覧・集金時の負担改善にデジタル化の導入検討や、全町連の権限、要支援者台帳と地域支援員の問題など多様な意見交換を行いました。

意見交換を行いました。

●シルバー人材センター

30周年を迎えるセンターの概要説明を受け、設立当初からの変革、稼働会員40名という現状、事業外ボランティア活動の重要性、会員の高齢化問題など多様な意見交換を行いました。



シルバー人材センター

町立病院

●管理運営について

令和4年12月末現在、外来・入院患者数、診療収入ともに前年同期、予算を上回る状況であり、決算見込みにおいて、一時借入金的大幅な減少が見込まれるが、物価高騰から、材料費や光熱費など経費が前年度より増大している。

また、診療体制は、麻酔科・精神科各1名減となるが、内科2名・耳鼻咽喉科1名増で、各科に常勤医が着任予定のため診療体制の充実が図られる見込みとの報告がありました。

委員 麻酔科1名減となりますが手術等への影響は。

担当 1年目の医師が退職しますが、ベテランの常勤医1名と北大からの応援も受けているため影響はありません。

委員会開催 1月19日

2月9日

(平山 光生 議員)

産業建設常任委員会

活動レポート



経済部

●経済振興について（地域雇用活性化推進事業について）

地域関係者の創意工夫や発想を活かし雇用創造を図るため、事業所の魅力向上、地域求職者の人材育成、それらをマッチングさせる就職促進事業に取り組む地域事業の事業決算が確定した報告を受けました。

委員 雇用創出数は、業種別でどのようなものがありましたか。

担当 中標津町においては建築業1件、飲食店1件がありました。

●学校法人岩谷学園について
学校法人岩谷学園の専修学校開設場所の東7条南9丁目6番ほか3筆の土地使用賃借契約書の条項変更後の説明を受け、全体及び変更条項の質疑を経た後、土地使用賃借契約書の承認をしました。

●中標津町農業協同組合と計根別農業協同組合との懇談会

農家戸数や新規就農の推移、酪農ヘルパーの現状についての質疑や、現在、生乳生産調整など、厳しい酪農の現状に



J A 中標津



J A 計根別

ついてお話を伺いました。
昨年、議会に提出された請願書の対応について、組合長より感謝のお言葉をいただきました。

建設水道部

●空家等対策計画について

特定空家等への措置や空家等の利活用の促進など、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため「中標津町空家等対策計画(案)」の策定に向けた説明を受けました。

●緑ヶ丘森林公園キャンプ場について

基本計画策定の整備コンセプトについて、利用ルールの明文化等の説明を受けました。
委員 ドッグランの設置等は検討しないのですか。

また、しつけができていないペットの制限的な利用があれば利用度も上がると思われます。

担当 公園条例で、迷惑行為の禁止となっている状況のため。

め検討していきます。

●町営住宅について

中標津町公営住宅等長寿命化計画について、中間年次を迎える令和4年度に見直しを行ない、新たに令和5年度、14年度とする改訂計画を策定していくことの説明を受けました。

また、公営住宅の建替え計画は、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化・地場産材の活用・中標津町景観計画に基づく景観・環境に配慮した整備・脱炭素化等に取り組む予定です。

委員 計画にある点検結果のデータベース化および法定点検については、町内にある有資格者の協力が必要ではないですか。

担当 役場職員の目視による点検をします。

委員会開催

1月11日

1月24日

2月10日

2月16日

(宗形 一輝 議員)

令和5年1月から3月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
1月6日	新年交礼会	議長・議員	20日	3月定例会議件事前説明	正副議長・正副議長委員 ・三常任委員長
7日	令和5年中標津町二十歳のつどい	議長	21日	議会改革特別委員会	全 委 員
8日	中標津消防団出初式	議長	25日	公明党釧路総支部新春政経セミナー（釧路市）	議 長
10日	（一社）中標津青年会議所新年交礼会	議長		伊東よしとか国政報告会	副 議 長
11日	産業建設常任委員会	全 委 員	3月1日	中標津農業高等学校卒業証書授与式	議 長
13日	議会広報特別委員会	全 委 員		議会運営委員会	副 議 長
16日	総務文教常任委員会	全 委 員	3日	根室北部廃棄物処理広域連合、中標津町外2町葬斎組合、根室北部消防事務組合、根室北部衛生組合 各議会定例会	全 委 員
	厚生常任委員会	欠 席 2 名		自衛隊入隊予定者激励会（別海町）	全 委 員
19日	厚生常任委員会（全町内会連合会との懇談会）	全委員・議長	4日	総務文教常任委員会	全 委 員
23日	（一社）北海道中小企業家同友会	議長・議長	6日	厚生常任委員会	全 委 員
	南しれとこ地区会新年交礼会	議長		産業建設常任委員会	全 委 員
24日	根室管内商工会連合会、町長・議会議長と商工会正副会長が新年を迎え語り合う会	議長		議会運営委員会	全 委 員
	産業建設常任委員会（中標津・計根別両農協との懇談会）	全 委 員	7日	3月定例会本会議1日目	全 委 員
25日	中司てつお新春道政報告会	正 副 議長		全員協議会	全 委 員
27日	議会改革特別委員会	全 委 員	8日	3月定例会本会議2日目	全 委 員
31日	ながしべつ冬まつり雪像制作団体陣中見舞い	議長		予算審査特別委員会（1日目）	全 委 員
	正副委員長会	三常任正副委員長		予算審査特別委員会（2日目）	全 委 員
2月3日	令和4年度北海道中標津農業高等学校教育懇談会	議長	9日	総務文教常任委員会	全 委 員
4日	ながしべつ冬まつり開会式	議長		産業建設常任委員会	全 委 員
	総務文教常任委員会（北方領土返還要求署名活動）	欠 席 1 名	10日	厚生常任委員会	全 委 員
6日	議会運営委員会	全 委 員		産業建設常任委員会	全 委 員
7日	「北方領土の日」根室管内住民大会（根室市）	議長・議長	11日	総務文教常任委員会	全 委 員
8日	厚生常任委員会（シルバー人材センターとの懇談会）	議長		産業建設常任委員会	全 委 員
10日	総務文教常任委員会	全 委 員	13日	鈴木貴子・鈴木宗男新春交礼会	副 議 長
	産業建設常任委員会	全 委 員	14日	予算審査特別委員会（3日目）	全 委 員
13日	正副委員長会	三常任正副委員長	15日	議会運営委員会	全 委 員
15日	第1回臨時会	欠 席 2 名	16日	総務文教常任委員会	全 委 員
	全員協議会	欠 席 2 名		3月定例会本会議3日目	全 委 員
	議会運営委員会	全 委 員	23日	正副委員長会	三常任正副委員長
16日	産業建設常任委員会	欠 席 1 名	24日	議会広報特別委員会	全 委 員
			28日	議会広報特別委員会	全 委 員
				全員協議会	全 委 員
				議会改革特別委員会	全 委 員

私たち議員18人と『対話』しましょう ♪ ワールドカフェで開催します!!

Nakashibetsu 議会 ミルク Café



7月30日(日) (同日2会場で開催します)

中標津会場 13時～15時 (受付12時30分より)

しるべつと コミュニティホール

計根別会場 19時～21時 (受付18時30分より)

交流センター 大集会室



議会報告会ホームページ

議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場

TEL (0153) **73-3111** FAX (0153) **73-5333**

〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <http://www.nakashibetsu.jp> ・メールは gikai@nakashibetsu.jp

議会ホームページ



発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会